



国家公務員共済組合連合会

佐世保共済病院 広報誌

2014
vol.14
第3号

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

INDEX

- ごあいさつ…………… ①
院長 木寺 義郎
- 内視鏡センター長就任のご挨拶
- 松永章先生を偲んで…………… ②
- がん化学療法認定看護師の活動について
- 診療活動の現況…………… ③
— 麻酔科の活動ついて —
- 第14回佐世保共済病院市民公開講座の開催報告…………… ⑤
- 趣味を語る 海釣りの新顔
- 地域医療連携室より…………… ⑥
- 新採用医師の紹介
- 編集後記
- 外来診療担当表…………… ⑦

「紅」撮影：相良 利博 氏

ごあいさつ

院長 木寺 義郎

地域医療における医療従事者の活動の1つに講演会を通じた教育活動があります。当院でも職種を問わず積極的に取り組んでいます。私にも中学生を対象に性教育に関する講演依頼があり、7月15日に平戸市立大島中学校を訪れました。今回のテーマは、AIDSに代表される性行為感染症でした。

学校のある的山（あづち）大島には、釣り人が佐世保市の方からも多く訪れます。島には杉の木がないので花粉の飛散する季節だけ島に滞在される花粉症の人もいます。全校生徒数は30名程度と少人数ですが、それだけに先生と生徒さんの結び付きは強いのではないかと思います。今回の講演の内容が専門性の高い病気の話になりますので皆さんに興味を湧かないのではと懸念しましたが、性行為感染症のなかには不妊症の原因になるものや妊娠した時に母子感染で児に病気を発生させるものがあります。現在は健康な身体に恵まれていても、将来生徒さんがこのような状況に遭遇して悩むことのないようにという思いで話をしてきました。

性教育は日本が直面する人口問題と関連しています。人口減少の対策は、政府が来年度以降、第3子からの出産・保育の給付を増やすと発表したように行政レベルで立てられるものが多いと思います。しかし後日送られてきた生徒さんの感想文を拝見すると将来の健全な生活のために今回学んだことを生

かそうという意欲が感じられて、教育による知的レベルの底上げこそ問題の解決には重要であるという認識を新たにしました。

大島中学校の生徒さんと



内視鏡センター長就任のご挨拶

しくわ さぶろう
宿輪 三郎



●出身地・出身大学・卒業年度：
長崎県 昭和60年久留米大学

●主な職歴：

昭和60年 長崎大学第2内科

昭和62年 長崎大学大学院医学研究科（原研病理）入学

平成3年 千住病院（医師）

平成7年 大村市立病院（医長）

平成10年 長崎医療センター（消化器科医長、病棟主任）

平成18年 長崎大学病院光学医療診療部（副部長、准教授）

平成20年 宮崎病院（院長）

●主な専門資格：

内科学会認定医、消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会財団評議員、日本消化器病学会学会評議員、長崎大学臨床教授、非常勤講師

7月1日に内視鏡センター長に就任しました。専門領域は消化器で、消化管癌の内視鏡診断と治療、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）の診断と治療を専門としております。

佐世保は消化器科の医師としてスタートをきった土地であり、20年ぶりに帰ってきたことには感慨深いものがあります。この20年は自己研鑽に比重を置いてきましたが、今後は教育指導に重きを置き、後輩の先生方の成長の糧になればと考えております。

また佐世保の中核病院として地域医療の向上に貢献していきたいと思っております。開業の先生方には内視鏡センターを検査室の一部と考え気軽にご利用いただければ幸いです。

平成 25 年 9 月 28 日に松永章先生が亡くなられ、1 年になろうとしています。

医局には先生の愛用された机と椅子が今もそのまま残っており、外来の机には先生が書かれたいろいろな薬のメモが挟んであります。それらをみるたびに先生の診察しておられる姿が思い出されてなりません。

先生は昭和 53 年に共済病院に赴任され、約 35 年間、神業的な手術で多くの患者さんを助けられました。外科だけでなく病院全体の発展、経営改善に大いに貢献されました。また多忙を極めながらも医師会、同窓会、学会、研究会などで地域医療の発展に尽くされました。私生活ではゴルフ、海釣り、ハンティング、園芸と趣味も多彩でした。

発病された後は全力で病気と闘われました。亡くなる数週間前まで抗がん剤治療を続けながらも診療に携わられたその気迫と責任感には敬服いたしました。

先生、長きにわたり我々をご指導いただき本当にありがとうございました。お疲れ様でした。先生の一生懸命生きてこられた人生は、私たちの中でお手本としていつまでも生き続けるでしょう。

命日には先生の好きだった西海ブルースを歌いながら思い出します。

先生の霊の安らかならんことをお祈り申し上げます。



医局納涼会にて（前列右 松永顧問）

がん化学療法認定看護師の活動について

がん化学療法認定看護師 和田千栄子

近年、国民の 2 人に 1 人ががんに罹患、3 人に 1 人ががんで死亡すると言われています。がん治療は、手術療法、放射線療法、化学療法が治療の三本柱です。私はそのがん治療の中の化学療法を専門とした「がん化学療法認定看護師」の資格を 2012 年に取得しました。現在当院には 2 名のがん化学療法認定看護師がおり、それぞれ外来化学療法室、外科病棟で勤務しています。

がん化学療法看護の基本は、安全・安楽・確実な薬剤投与です。化学療法は安全治療域が狭いので副作用症状が出現しやすいという特徴があります。また、医療従事者をはじめとした周囲への薬剤の曝露という危険性もはらんでいます。さらに、がん化学療法は、長期の継続が必要なケースが多くなります。患者さんの不安な気持ちに寄り添い、より副作用症状の少ない状態で看護が出来るように、また医療従事者が安全な環境を守り、疑問を持った時には応えられるように、よきアドバイザーでありたいと思っています。



化学療法委員会スタッフ（前列中央 和田看護師）



麻酔科・手術室部長
深野 拓

【はじめに】

麻酔科外来は本館3階にあり、弓張岳、ニミツパーク、佐世保港と佐世保が誇る風光明媚な名所を望む、共済病院で一番眺めの良い外来です。平成11年の開設以来、春は佐世保公園の桜、夏は弓張岳の青葉、秋はニミツパークの紅葉、更に年初めには佐世保川の消防出初式と、訪れる患者さん方に喜んでいただいています。午前中は術前診察、手術当日の硬膜外留置、ペインクリニック・緩和ケア外来を行っています。近年手術室の利用率を高めるため、また、麻酔科医の活用のために午前中からの手術症例が多くなってきました。それとともに麻酔科管理症例が増加し、術前診察に掛かる時間も多くなっています。

【麻酔業務】

共済病院の手術室は8室あり、看護師22名、看護助手4名で運営しております。昨年は年間3000症例以上、1日平均14例の手術が行われました。全身麻酔症例は約1300症例、腰椎麻酔症例は約1250症例で、そのうち麻酔科は全ての全身麻酔と300例ほどの腰椎麻酔を行っています。

近年の麻酔科領域のトピックスは血液／ガス分配係数が笑気(0.47)より小さいデスフルラン(0.45)が発売されたことです。現在最も使用されているセボフルレン(0.65)も導入覚醒は速やかですが、それ以上にデスフルランは速やかで、覚醒の質もプロポフォール並みに良好になりました。しかし気化器が限られているため、高度肥満の患者さん等に限定しての使用を考えています。

さらに2番目のトピックスは、筋弛緩拮抗薬のスガマデックス(商品名ブリディオ)が臨床使用可能となったことです。今まで拮抗薬といえばアトロピンとワゴスチグミンを1:2で混注したものをゆっくり静注していましたが、その後の口腔内分

泌物増加や喘息発作誘発に悩まされたものでした。ブリディオは副作用が少なく、更に嬉しい事に、16mg/kg投与すれば筋弛緩薬投与直後にも回復が可能とされています。麻酔科医にとって麻酔導入直後のCVCI-cant ventilate,cant intubate-(マスク換気も気管挿管も出来ないこと)は、ストレスの大きい症例の中の1つです。そのストレスが少しでも緩和されることは本当に嬉しい事と思います(まだ試したことはありませんが…、そのような症例には当たりたくありません!)

3番目のトピックスは、超音波エコー下のブロック注射を全身麻酔に併用する症例が多くなってきたことです。解析度が良好になり末梢神経の確認が出来るため、ブロック注射の成功率が上昇しました。近年抗凝固薬を内服される患者さんが多くなり、硬膜外麻酔併用が困難な症例が増加しました。そのため術後の鎮痛に、上下肢症例(腕神経叢ブロック、大腿神経ブロックなど)だけではなく開胸開腹症例(傍脊椎ブロック、腹直筋鞘ブロックなど)に対しても、ブロックが行われています。当院では胸腹部のブロックは行なっていませんが、今後症例によっては考慮が必要かと思っています。

年	H 22	H 23	H 24	H 25
全手術件数	3182	3230	3459	3388
麻酔管理件数	1367	1396	1602	1624
透視下ブロック症例	28	30	35	19
ペインクリニック症例	175	231	226	181
緩和ケア依頼症例	25	36	48	54

【ペインクリニック】

以下に主なペインクリニック対象症例を紹介いたします。

〈腰下肢痛〉

腰下肢痛に対する保存的治療法として、硬膜外ブロック、神経根ブロック、パルス高周波、高周波熱凝固後枝内側枝ブロック等を行っています。

〈顔面神経麻痺・突発性難聴〉

発症早期より顔面神経管に圧迫された神経を

保護するために、顔面の血流を改善する星状神経節ブロックを行っていましたが、最近は紹介がありません。

〈顔面痙攣〉

顔面の筋肉の痙攣を抑えるためボツリヌス菌の毒素（ボトックス）の筋肉内注射を行っています。ボツリヌス毒素が注射された部位の筋肉の収縮を抑えることで、筋肉の痙攣、緊張を和らげます。効果は2、3日～2週間で現れ、通常3～4ヶ月持続します。木本医師が担当しています。

〈三叉神経痛〉

手術に踏み切れない患者さんや癌患者さんに対し、抗てんかん薬・漢方薬を中心とした薬物療法やアルコール・高周波熱凝固によるブロック療法を行っています。

〈帯状疱疹・帯状疱疹後神経痛〉

疼痛の性状としてこれほど厭らしいものはないようです。発症から2週間くらいまでの帯状疱疹急性期において皮疹部の知覚低下があると神経の炎症が強いと予想され、3ヶ月以降も疼痛が持続する帯状疱疹後神経痛に移行しやすいと考えられています。当院では発症早期より硬膜外腔および神経節部にステロイドの投与を行い、出来るだけ早く炎症を鎮めるよう努力しています。疼痛が激しい場合は、ご紹介いただけると幸いです。

【緩和ケア】

当院の緩和ケアチームは平成15年に発足いたしました。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、MSWの多職種から成り立っていますが、精神科医が不在のため診療加算が取れないボランティアチームです。現在2名の緩和ケア認定看護師が在籍しており、積極的に患者さんに関わるようになっています。「痛い、つらい」という言葉を聞き漏らさないよう情報戦には留意しています。

【最後に】

近年麻酔科の需要が高まり、担当部署は、手術麻酔、集中治療、ペインクリニック、緩和ケアなど多岐にわたっています。現在常勤2名、非

常勤4名の1日4.8人で麻酔科業務を行っていますが、麻酔科管理症例も年々増加し、各科にご迷惑を掛けることも多くなってきました。四季折々の飲み会を開催している共済病院麻酔科で、一緒にキャリアを磨いていきませんか。皆様のご参加をお待ちしております。



筋弛緩薬、筋弛緩拮抗薬



吸入麻酔薬



超音波エコー下での腕神経叢ブロック



深野医師（後列右）と麻酔科スタッフ

第14回佐世保共済病院市民公開講座の開催報告 歯科口腔外科部長 窪田 泰孝

8月9日に第14回佐世保共済病院市民公開講座を院内大講堂で開催致しました。強い勢力の台風11号の接近のため開催が危ぶまれましたが、病院職員が準備に費やしてきた苦勞に報いるように当日は時折風が強く吹く程度となって予定通り開催することができ、参加者も200名近い盛況でした。

今回は「口からの健康」をテーマに歯科から3つの講演を行いました。先ず私 窪田が「口の病気のあれこれ」と題して気をつけたい口の病気を紹介し、続いて佐世保歯科医師会会長の七熊 正先生が「おいしい食事と楽しい会話で、生涯続く健口生活 一命を支える噛む力」と題してゆっくり長く噛むことの大切さを分かりやすく話していただきました。最後に九州大学口腔顎顔面外科講師の大部一成先生が「口から楽しく食べよう！ー歯科口腔外科から見る摂食・嚥下の問題ー」と題して噛んだ後の嚥下機能とその訓練法について講演されました。

超高齢化社会を向かえています、赤ちゃんから老人まで多くの方々が咀嚼、嚥下、発音などの口腔機能を正常に維持し、楽しい生活を送る上で少しでも役立てていただければと思います。



前列左から窪田部長、七熊会長、木寺院長、大部先生

趣味を語る 海釣りの新顔

副院長 萩原 博嗣

佐世保に住む幸せの一番は魚介類が豊富で美味しいことです。ということは、この近海は魚の宝庫なのです。私は20年前まではスキューバダイビングに入れ込んでおりましたが（漁業権の無い男女群島などで潜って命を的に魚を追い回す面白さはこたえられないものでした）、毎年耳が悪くなるのでその後は船釣りに宗旨替えしました。

主な漁場は宇久島、小値賀島の周りの海域で、特に磯釣りのメッカとして有名な古志岐三礁には何度出かけたことか。狙いはあくまでも鯛。生き蛸を餌にテンヤ仕掛けの一本釣りという釣り方です。鯛に混じって釣れるのは鰯、ヒラスなどの青魚、アコウ、キジハタなどのハタ類が多いのですが、最近は見たとこの無い魚が時々釣れるようになりました。写真の赤い魚は「スジアラ」、本来は天草を北限とする南方系の魚なのだそうです。味は「アラ」とほとんど同じ、寿司屋に大勢集まって美味しく頂きました。地球温暖化は気になりますが、美味しい魚がやってくるのは大歓迎です。



スジアラ 76 cm 6.1 kg 古志岐三礁

地域医療
連携室より
Part.
25

むらはし循環器科内科

〒859-3223 長崎県佐世保市広田3丁目24-7

TEL 0956-39-5727

院長 村橋 信夫 先生



平成 16 年 5 月より、広田 3 丁目で開業しております。

虚血性心疾患、高血圧症、不整脈、脂質異常症等の循環器疾患を中心に診療しておりますが、最近は睡眠時無呼吸症候群や禁煙の治療にも力を入れております。大学院時代には動脈硬化の研究に携わっておりましたので今でも血管の病変には強い関心があり、動脈硬化性疾患の発症リスクが高い患者さんには、頸動脈エコーを使用してのプラークの検出や腎動脈エコーでの腎動脈狭窄の有無等を確認しております。

患者さんの症状から心臓カテーテル検査等の精査が必要と判断した場合は、同門である共済病院循環器内科の金谷先生へ紹介していつも適切な治療をして頂いており、冠動脈 CT 等の画像診断の際には、放射線科の野々下先生にも度々お世話になっております。



村橋院長とスタッフのみなさん

また外科の井原先生や他科の先生方にもお世話になる事も多く感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

診療している患者さんの中には共済病院ファンも多く、これからも紹介する機会が益々増えていくと思います。円滑に病診連携ができるよう努力していきますので、今後とも宜しく願い致します。

新採用医師の紹介



たうら まさひこ
耳鼻咽喉科医長 田浦 政彦

- 出身大学：九州大学 平成 12 年卒
- 在籍医局：九州大学 耳鼻咽喉科
- 専門領域：頭頸部腫瘍、嚥下障害
- 趣味：神社参拝、日本泳法（小堀流踏水術）
- 一言：佐世保は 7 年ぶりの再任です。又よろしく申し上げます。

編集後記

夏にふさわしい熱いドクターがこの 7 月に消化器内科にやってきました。内視鏡センター長の宿輪三郎先生の参加で当院の消化器診療が充実していくことにご期待ください。一寸涼しいニュース。 編集委員長 萩原 博嗣



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 26 年 9 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考（専門分野・特徴など）
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医長	金谷 晶子			●		●						腎臓疾患
	医員	吉崎 真衣					●				●		腎臓疾患
	〃	野中 康德	●						●				腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	医員	濱村 仁士	●						●				循環器疾患
	非常勤医	田淵くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患
	〃	瀧井 英一									●		循環器疾患
呼吸器内科	非常勤医	三雲 大功									●		呼吸器疾患
	〃	大田 恵一					●						呼吸器疾患
消化器内科	部長	河野 健次			●				●				肝臓疾患
	センター長	宿輪 三郎	●				●						消化器内科疾患
消化器センター			●		●		●		●		●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 (検査内容) 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等
			西村		富崎		佐藤		仕垣		井原		
外科	診療部長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳癌外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医長	三笠 圭太	●				●				●		血管外科・一般外科
	〃	佐藤 寿洋			●						●		消化器外科・一般外科
	医員	西村 太郎			●				●				一般外科
	〃	仕垣 隆浩	●								●		一般外科
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二							●				呼吸器外科 11 時までに受付を行って下さい	
乳腺外来			●		●		●		●		●		※乳癌検診は、10 時までに受付を行って下さい (要予約)
			佐藤		仕垣		原田		原田		西村		
小児科	診療部長	岡 尚記	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	医長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、食物アレルギー、気管支喘息
	乳児健診					●							火曜 午後 1 時から診察開始 午後 2 時までに受付を行って下さい
	慢性外来							●					水曜 午後 2 時から診察開始
	喘息外来									●			木曜 午後 2 時から診察開始
脳神経外科	部長	川口 務	●		●		●		●		●		※川口医師は再診患者のみの受付になります。
	医長	尾藤 昭次	●				●				●		脳神経外科一般・脳腫瘍
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●						●		●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	医長	水城 安尋			●		●				●		上肢の外科(肩肘手)、足部外科(外反母趾等)、スポーツ障害
	医員	佐々木 大	●				●		●				膝股関節疾患、スポーツ障害、骨軟部腫瘍
	〃	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科(肩肘手)、スポーツ障害
	〃	千住 隆博	●		●						●		整形外科一般
	〃	矢野 良平			●		●		●				整形外科一般
	〃	栗山みどり	●		●				●				整形外科一般
〃	清水 大樹	●				●				●		整形外科一般	
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染、男性不妊(江口)
	部長	江口 二朗	※		●				●		●		▲の診察は第 1 週のみ 10 時 30 分からです
	医長	中村 貴生	※		●		●		▲				※の第 2・4 週(江口) 第 1・3・5 週(中村)が診察を行います
産婦人科	院長	木寺 義郎	●								●		産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	〃	松隈 敬太							●				
	医員	大塚 純一	●■				■		●		●		
〃	友延 寛	●		●							■		
眼科	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、
	医員	篠田 美佳	●		●	※	●	※	●		●	※	眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
													※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)
耳鼻咽喉科	医長	田浦 政彦	●		●		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	丸田 弾	●	●	●		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	宮田 裕作											
	〃	池田 蘭奈											
麻酔科	部長	深野 拓			●				●				月～金午前ペイン・緩和ケア外来
	医長	木本 文子	●				●				●		月～金午後は手術麻酔
	非常勤医	吉村 真紀											
	〃	別府 幸岐											
病理診断科	診療部長	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	●	●	●	●	●		●	●	●	●	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、顎関節症、口腔腫瘍
	医員	矢内 雄太	●	●	●	●	●		●	●	●	●	菌性感染症など
健診センター	部長	佐藤 浩信	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155										
	医長	原 敬一											